

企業誘致の状況

県営大館第二工業団地では、今年6月から建設中のグリーンパッケージ秋田工場が、10月1日に操業を開始したところであり、またニプロファーマの仮操業中の抗がん剤棟ほか4棟が12月1日から本操業を開始する予定です。

また、現在整備中の釈迦内工業団地では、今年9月に設立された秋田原木市場が投資額約2億7千万円で年間原木取扱目標量5万8千立方メートルの木材流通センターを、北秋容器が投資額約3億8千万円で年間販売目標量2万2680立方メートルのチップ工場の建設を計画しており、いずれも来年4月に着工、8月の操業開始を予定しています。

花岡工業団地では、10月にプレシジョン・システム・サイエンスがエヌピーエスの敷地内で、DNA自動抽出装置向け検査用試薬の製造等を行う「大館試薬センター」の建設に着手、平成27年2月の操業開始を目指しています。

田代地域では、10月に遠藤林業が投資額約4億1千万円で木材等の増産に向け大館第2工場の建設に着手し、来年4月の操業開始を予定しています。

一方、埼玉県に本社を有し新館工業団地に秋田工場を置く1社が、赤字経営が続いたことなどに伴い、10月末で事業を停止し会社清算に入っており、8人が解雇となっています。

10月1日現在、条例に基づく指定工

場は67事業所で、従業員数は4502人となり、昨年同期比で87人増となっています。

今後とも既存企業への支援と併せて、企業誘致を更に推進します。

平成25年度の除雪体制

昨年度の累計降雪量が613センチメートルを記録するなど、近年、降雪量が増加傾向にあることから、昨年度の反省を踏まえ、「初期除雪の強化」、「路面状況に応じた除雪」、「排雪の強化」などを徹底し、万全の体制で市民生活の安全と道路交通の確保に努めます。

特に、午前7時までの除雪作業の完了を徹底するため、昨年まで時間を超過していた路線の除雪体制の検証と路線調整を行い、通勤通学時の支障とならないよう進めます。

また新たな試みとして、一部のエリア・除雪機械において「除雪運行管理システム」を試験導入します。これはGPSによりリアルタイムで作業場所や作業ルートへの把握を可能とするもので、交通の流れや作業状況を的確に判断し、効率的できめ細かな除雪作業につながるものと期待しています。

学校等の表彰

このたび第二中学校が、平成25年度文部科学大臣表彰「学校安全の部」で表彰されました。これは、企画から運営まで生徒が主体的に参加し、地域と連

携しながら深めていった防災教育が評価されたものです。



また、城西小学校ガードボランティア隊が、25年度文部科学大臣表彰「安全ボランティア活動奨励賞」を受賞しました。これは長年にわたる下校時の見守り活動と、日常的な安全・安心まちづくり活動が評価されたものです。

更に、昨年総務大臣表彰を受けた釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会が、公益財団法人あしたの日本を創る協会などが主催する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」で「主催者賞」を受賞しました。

これらは各校が、市の推進している「大館ふるさとキャリア教育」を学校教育の中核と捉え、地域と一体になって取り組んできた成果です。他の学校にも素晴らしい取り組みがたくさんあり、今後更に充実させたいと考えています。

国民文化祭プレ事業

10月4日から27日までの24日間にわたって開催したゼロダテ美術展では、大町商店街を始め、中心市街地の空き店舗等を活用したアーティスト・イン・レジデンスのほか、本市出身の映画監督を迎えての「映画フェス」や「ゼロダテミニライブ」等のイベントを行いました。

10月12日には「ゴスペル音楽祭 in 大館」が市民文化会館で開催され、県内はも

とより弘前市や横浜市からの参加を合わせ10団体が出演し、翌13日のきりたんぼまつりの会場でも歌声を響かせました。

また、11月10日に大館樹海ドームで開催した「マーチングバンド・パトントワーリングの祭典」では、地元や東北の団体、合わせて25団体1157人が出演し、悪天候にもかかわらず、予想を上回る2718人に来場いただき盛会裏に終了することができました。

今後は、今回のプレ事業の経験を生かし、課題等を検証しながら、来年の国民文化祭本番に向けて準備を進めたいと考えています。



そのほかの報告

- ・平成25年の農業・敬老事業
- ・弘前大学への地域医療推進学講座開設
- ・秋まつり等の開催状況
- ・日本海沿岸東北自動車道「大館北IC」小坂JCT」の開通
- ・「大館北IC」小坂JCT」の開通に伴う「消防相互応援協定」の締結と合同防災訓練の実施
- ・第23回大館市生涯学習フェスティバル
- ・第41回本場大館きりたんぼまつり
- ・財団法人小畑勇二郎顕彰会からの寄付
- ・公共事業の進捗状況